

鹿児島県立与論高等学校

校長通信

第1号 (令和8年6月1日/校長 山下剛志)



校訓「**好学 創造 親和 不屈**」

鹿児島県大島郡与論町茶花 1234 番地1

電話 (0997) 97-2064

FAX (0997) 97-2844



ごあいさつ

令和8年度が始まり、早くも2ヶ月が経過しました。遅くなりましたが今年度も『校長通信』をお届けします。生徒・保護者等を対象に、学校に関する話題を中心に紙面を構成していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

この4月から、久々に与論高校に勤務することになりました。以前、与論高校で7年間勤務(平成7年4月~平成14年3月)させていただいた時には、当時の保護者や地域の方々大変お世話になりました。あらためて感謝申し上げます。ミッシークトートウガナシ。

また、当時高校生だったみなさんが、与論島に帰ってきて、与論のいろいろな所で活躍されていることを知り、大変うれしく思うと同時に、与論のために一所懸命に頑張っていることに感謝しています。私自身、2度目の与論高校勤務にあたり、与論島出身者として、与論高校生徒の成長のため、与論のため、役に立てるよう、先生方と協力し、精一杯、努めて参ります。生徒、保護者、同窓生、そして、地域のみなさん、どうぞよろしくお願いいたします。

年度当初にあたって

今年度は35人の新入生を迎え、2年生42人、3年生40人の総勢117人の生徒でスタートし、2ヶ月が経ちました。1年生も新しい環境に慣れ、学校全体として落ちついた雰囲気の中で学習や行事に取り組んでいるように思います。

始業式と入学式で私は生徒たちに2つのことを考えて欲しいと伝えました。

1つ目は、「**目標設定とその目的について考える**」ということです。目標は、自分の進む方向を示してくれるものです。そして、目的は目標達成に向けた強固な心構えとなります。また、私たち人間は目標があるときは頭脳が活発に機能し、心も体も生き生きと元気になるといわれており、目標を持つことは人間にとって、身体面にも精神面にもよい影響を与えるからです。生徒一人一人が、それぞれの目標に向かって、様々な経験や努力をする過程で成長してい

くことを願います。

2つ目は、「**ルーツに誇りを持つ**」ということですが、このことは、大倉前校長先生が生徒たちに話されてきたことですが、私としても、このことについて引き継ぎ、生徒たちに訴えていきたいと思えます。

4月15日(金)に、与論町海洋教育事務局や地域サポーターとして地域の方々との協力を得て、「ゆんぬ学」地域連携事業探究シンポジウムを実施しました。その中で、本校を卒業した3人の大学生のトークセッションでは、与論島という場所が、今の自分の興味・関心にどう影響したかということや、大学に入って「高校の探究活動が活きた」と感じた瞬間など、生徒にとって有意義な内容のトークが展開され、与論高校で学んだことが活かされていることや、3人それぞれの考えなど知ることができました。生徒たちは本校卒業も先輩方の考えなどを聴き、「ゆんぬ学」へ自分なりにどう取り組むか考えるよい機会になったと思えます。

午後に行われたワールドカフェには、私も地域サポーターの一人として参加しました。何人かの生徒との対話を通して、生徒たちが「与論の課題等」について、よく理解し考えていることがわかりうれしく思いました。生徒たちには、引き続き積極的に考えて欲しいと思えます。

祝 与論高校創立60周年

今年は、与論高校創立60周年の節目の年になります。令和8年11月14日(土)に記念式典を举行します。創立60周年を迎えるにあたり、与論高校開校に向けてご尽力を賜った多くの方々、母校のためにご尽力いただいている寮舎会の方々、そして、開校以来、本校の教育方針を御理解いただき、御協力を賜っている保護者や地域の方々にも心より感謝申し上げます。

今年度も、**重点目標「予測困難な時代を主体的に生き抜く力を持った生徒を育成する」**の達成に向けて、生徒一人一人の成長を支援し与論の未来を支える人材を育てていきたいと考えております。今後とも皆様の御理解と御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。